

## 16 種類別明細書(増加資産・全資産用)の記載例

## 見 本

(提出用)

第二十六号様式別表一(提出用)

令和8年度

## 種類別明細書(増加資産・全資産用)

所有者コード	0898765432	09876	
--------	------------	-------	--

所有者名	1枚のうち
富士製造株式会社	1枚目

行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等 (漢字も使用可)	数量	取得年月			耐用年数	課税標準の特例	課税標準額	増加事由	摘要		
					年号	年	月			取得価額				
										十億	百万	千円		
01	1		工場緑化施設	1	R	7	3	7		1 500 000			①② ③・④	
02	1		アスファルト舗装	1	R	7	3	10		600 000			①② ③・④	
03			コンクリート塀	1	R	7	3	30		2 400 000			該当する増加事由の番号に○をつけてください(下欄注意書き参照)。	
13	以下から当てはまる数字を記載してください。			屋外給排水設備	1	R	7	3	15	5 000 000			資産を取得するために、直接支出した金額のほか当該資産を事業の用に供するために要した費用(手数料・関税・据付手数料等)も含まれます。	
	1	構築物	切断機										沼津工場より移設	
	2	機械及び装置	新型金属加工機 F 223型										特例適用 附則第15条第43項	
	3	船舶	太陽光発電設備										申告漏れ	
	4	航空機	ホイールローダー										①② ③・④	
	5	車両及び運搬具	応接いす										①② ③・④	
	6	工具、器具及び備品	エアコン 2.8 KW										①② ③・④	
	10	6	ロッカー										①② ③・④	
	11	6	複写機										資産コード6-22 取得価額修正	
	12	6											①② ③・④	
	13													

漢字、ひらがな、カタカナ、英数字を使用し左詰で記載してください。最大40字まで登録できます。

資産の名称等について、漢字やひらがな等の登録が出来るようになりました。

ただし、既に登録されているカタカナの資産については、漢字やひらがな等への変更はできませんのでご了承ください。(登録内容の修正を伴う場合は、変更可能です)

資産を実際に取得した(決算帳簿記載の取得・事業供用)年月を記載してください。年号はS(昭和)、H(平成)、R(令和)で記載してください。

※印のある欄は記載する必要はありません。ただし、電算申告される方は記載してください。

20

小計

13

30712 000

注意 「増加事由」の欄は、1新品取得、2中古品取得、3移動による受入れ、4その

- 当該資産について、次のような事項を記載してください。
- 前年取得の資産を新規に申告する場合は“申告漏れ”等を記載
  - 課税標準の特例の適用を受ける資産について、その適用条項を記載
  - 割賦販売資産等売主が所有権を留保している資産については、その旨(売主の名称等)を記載
  - 耐用年数の変更があった場合には、その旨を記載
  - 中古資産で見積耐用年数を適用している資産については、その旨を記載
  - 短縮耐用年数を適用している資産については、その旨を記載
  - 増加償却を行っている資産については、その旨を記載